

栗窓

発行
北海道栗山高等学校
同窓会事務局
TEL0123-72-1343
印刷 企画印刷(株)

「新たななる二〇一六年に期待を」



同窓会長
本田 諭

二〇一六年の新春を皆様で迎え、本校校長先生を始め諸先生、関係各位の皆様、生徒の皆様にご挨拶申し上げます。今年も地球のテーマ地球温暖化と叫ばれておりますが、気象にも大きな流れが起こりあの沖縄に雪が！TVを見ていると少しでは有りますが現実に降りました。沖縄の人達にとっては大変な喜び様でした。あの表情には微笑まじさを感じました。私達の所も地域によつてですが少なくとも感じておりますし、又、多い所は大変な状況にもなっております。この先が氣に成るところです。

さて、ご卒業されます三年生の皆さん、三年間の校舎の窓、沢山の思い出を胸に抱いての卒業です。この先の進学に、就職にと小さな胸に不安と大きな夢とが交差をする時でもあります。これから社会経験を一歩一歩、歩みながら自分の道を切り開いて行つて頂きたいと思っております。大きく成長されます事祈っております。

さて、今年から大きな一歩として十八才から十九才の方々に国を動かす政治への参加が決まり一票の投票権を与えられました。若き人達の政治への参加です。社会の一員としての責任を負う訳であります。これから若人の中で未来を語って欲しいです。高校生活の中でどう地域を作るかなど沢山情熱をかけて話し合われる事願っております。今、世界では人の命の大切さに対し正当性を欠く出来事が日

常起っております。胸が痛みます。このような事が無くなる事を祈っております。

「新しい栗高へ」



校長
塩崎 学

現在の栗山高校は、各学年二クラスの計六クラスの学校となっております。過去を振り返りますと定時制や家政科のあった昭和三十九年には一学年が九クラスもありました。少子化の影響とは言え、寂しい感がぬぐえません。過去のクラスの推移などの詳細は本校のホームページに掲載していますので是非一度お立ち寄りいただければと思います。

ホームページも昨年の九月二十五日よりリニューアルして現在アクセス数が三万を超えました。一日平均にしますと二〇〇から三〇〇のアクセスがあり、本校の状況をリアルタイムにお届けできています。

今年も皆様にとつて輝かしい良いお年を送られます事を願つてここにご挨拶と致します。

目標を設定しています。
○真理を求め、創造性豊かな人になろう。
○視野を広め、みんなの幸せを考える人になろう。
○心身を鍛え、自ら実践する人になろう。

そういった環境の中で、今、栗山町の小学校三校（栗山、角田、継立）と中学校（栗山）として本校の五校で「小中高一貫ふるさとキャリア教育」の研究指定事業を行っています。期間は三年間で、研究テーマは『小中高十二年間を見通したキャリア教育の体系化と地域の未来を担う人材の育成を目指して』です。より地域に密着した学校をめざして、地域に貢献できる人材を育成するための研究を推進しています。

最後にになりましたが、栗山高校同窓生各位の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、本校への変わらぬご支援とご協力を重ねてお願い申しあげて年度を終えるに当たつての挨拶とさせていただきます。

また、北海道介護福祉学校との連携も二年目を迎え、本校生徒が介護学校に向いて授業を受けた後、学校祭に介護福祉学校の生徒が車いすのブースを設けたりなど着実に交流を深めています。

本校は、「北海道教育のめざす姿」の具現化を目指し、次代のふるさとを建設する担い手として、その発展に寄与する人材を育成するために次の学校教育

北海道栗山高等学校

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業 研究指定校

〒012-8501 北海道栗山町栗山 1-1-1
TEL 0123-72-1343 FAX 0123-72-1344
E-MAIL: hokkaido@hokkaido-nissho.ac.jp

〒012-8501 北海道栗山町栗山 1-1-1
TEL 0123-72-1343 FAX 0123-72-1344
E-MAIL: hokkaido@hokkaido-nissho.ac.jp



「我ら、三年四組佐立組」

東京支部副会長
楠 文 利

私は昭和四十二年に卒業し、長い間製紙会社向けに機械のセールスエンジニアをやっています。王子製紙や日本製紙等の製紙会社向けに営業・設計・製作を行っています。

客先のエンジニアと商談を進めるのが醍醐味です。それによつて受注の可否が決まるからです。受注し、納入した機械が稼働して、客先より「製品の品質が向上した」、「省エネになった」と好評の声を聞いた時、納入した機械が素晴らしいものだったと確信しました。自分も信頼された気がし、充実感と自信を得ました。客先の何人かのエンジニアの方とは直接仕事の関係が無くなった今でも付き合い合っています。この仕事をもう少し続けようと思っています。

毎年、八月第一土曜日夕方、栗山の居酒屋で「三年四組佐立組」のクラス会が始まります。

担任だった佐立利夫先生、幹事の廣岡(旧姓・会沢)千恵さんを始め十五名前後が集まります。栗高を卒業して五十年近く経ちますが、顔を見た瞬間高校時代に戻ります。「元氣か?」で始まり、「お互い、老けたな!」で、輝いていた高校生活を思い出します。高校を卒業してから

の出来事、病気を患った事、家族の事、楽しかった事も悩んで居る事も話します。

仲の良い信頼出来る友です。

居酒屋でたっぷり話をして、それから二次会のスナックでカラオケです。二次会でも疲れる程話して、第二校歌の「高校三年生」を歌って解散です。私にとっては夏の最大イベントで、沢山の元気を貰って帰京します。「三年四組」のクラス会がまだまだ続いて欲しいです。栗高時代の写真はセピア色になつても、栗高時代の思い出は鮮やかなカラーです。

卒業生の皆さん、夢と希望を持って卒業されることと思います。その夢と希望を、栗高を卒業した誇りと自信を持って叶えてください。信じています。栗校の先輩達も活躍しています。

プロフィール

昭和四十二年 卒業

昭和四十八年室蘭工業大学大学院科学工学科卒業

ニコルス・ファーマーイースト(株)に入社

昭和五十四年アサノエレコ(株)設

立に参加・入社

平成十二年丸紅(株)がアサノエレコ(株)を買収し、それに伴い丸紅(株)入社

平成二十七年丸紅(株)を退職。

アサノエレコ(株)を再度設立
現在、アサノエレコ(株)代表取締役、栗校東京支部副会長

「人生に正解なんてない」

栗高さつぽろ会会計幹事
堤 益 三

り仕事に生きると決めていました。両親を前に、昭和四十三年に創立されたばかりの婦人自衛官に応募したいと、熱い思いを語っていました。すると突然父の目から大粒の涙がこぼれ「お前というやつは!」と言ったきり外に出て行きました。母には「沖繩戦の生き残りの父さんに向かつて何てことを言うの!」と怒鳴られました。私は不治の病に罹った訳でなく、非行に走った訳でもないのに父を泣かせた事に愕然として、パツクリと割れた地面に飲み込まれてしまいたいと思いました。

大正十二年生まれの父は、徴兵検査で吃音のため「甲種合格」になれませんでした。戦終末期に召集されました。戦地は沖縄で、防衛上重要な前田高地の確保は日米両軍にとって天王山の戦いでした。道産子舞台と呼

雪の降るあの日、私は結婚よ

ばれた山三四七五部隊第二大隊の八百余名は「ありつたけの地獄をひとつにまとめた」と言われる死闘で、生き抜いたのは父を含むわずか二十九名でした。

あの時、父の心には、「はい」の返事さえ時間がかかる障害のため悲惨な軍隊生活を送り、それに加えて「戦争は人を魔物に変える」と良く言われる恐ろしい体験が蘇ったのだと思います。

そうして私は夢とは別の道を歩みましたが、世間の風が冷たいなか、共働きで子供を二人育てながら定年退職まで続けられたのは「仕事に生きる」と言っていたことを守りたかったのだと思います。

卒業生の皆さんもそれぞれの道に進まれますが、自分の信念をしっかり持ち幸せと感じるなら、私の経験からそれが正解だと思ふのです。皆さんの幸せを「さつぽろ会」より祈っています。

プロフィール

昭和四十五年 卒業

札幌職業訓練校事務課終了
昭和四十七年大成建設(株)札幌支店入社

平成二十三年退職

平成二十四年(株)APLグループ入社

現在栗高さつぽろ会理事

「栗山高校での思い出」

3年1組
岩崎 真奈

卒業間近に控えた今、栗山高校の三年間はあつという間に過ぎてしまった印象です。

三年間を振り返ってみると、部活動の面では一年生で吹奏楽部に入部していましたが、兼ねてからすめられていた書道部に二年生から入部しました。私は小学生の時に少し書道を習っており書道の知識はもっていたのですが入部したての頃はなかなか上手く書けなくて苦戦した日々が続きました。しかし、先生や部員のみんなに聞いたりして練習したら上手く書けるようになり書道を書く楽しさを知りました。努力し続ける大切さを学べました。

学校生活の面では行事の場でクラスの絆を実感しました。私たちのクラスは何かを決めるとき何度何度も話し合い、最終的には決まったことに対して

「三年間を振り返って」

3年2組
元田 佳弥

栗山高校で過ごした三年間はとてもあつという間でした。三年間を振り返ってみると、主に部活動に力を入れた高校生活でした。私は新しいことに挑戦しようと思い、弓道部に入部しました。部活動は毎日練習があり、また週に三回は夜練もありとても大変でしたが努力した分、大会では何度か入賞することができました。全道大会にも出場することができました。指導をして下さった方に怒られたり、自分のやりたいことがうまくできず、

何度も辞めたいと思うこともありましたが、今では最後まで続けてきて良かったと思っています。学校生活では、高校二年生の時に生徒会に立候補しました。私は人前で話をしたりすることが苦手な生徒会の一員として

でした。ですが、同じ生徒会の仲間や先生方などの支えもあって一年間無事にやり遂げることができました。支えて下さったみなさんにはとても感謝しています。行事の面では、何かを決めるにあたり必ずもめていました。その度、何度も何度も納得のいくまで話し合い、決まったことに対しては一人一人が全力で取り組みました。みんなが協力し合って、三年生のすべての行事で総合優勝することができました。最高の思い出を作ることができました。何度もぶつかり

合ったからこそ団結力が深まり、自分自身も成長できたのだと思います。私は二組のクラスメイトと一緒に過ごしたことは一生忘れないと思います。とても楽しくて良い思い出ばかりでした。ありがとうございます。

栗山高校に入學したからこそ、勉強、部活を頑張ることができ生徒会も経験することができました。これからは新たな環境で新たな仲間と学ぶことになりませんが、高校生活で学んだことを胸に日々努力をし続けたいと思います。



進路の状況

平成 28 年 2 月 23 日 現在

1. 進路希望と合格・内定状況

進路先	大 学	短期大学	看護学校	専門学校	公務員	就職(含自営)	その他	合 計
男子の希望者数	12	1	0	9	1	14	3	40
合格または内定数	11	1	0	9	1	14	0	36
女子の希望者数	3	3	1	10	0	14	0	31
合格または内定数	3	3	1	10	0	9	0	26
希望者の合計	15	4	1	19	1	28	3	71
合格または内定者合計	14	4	1	19	1	23	0	62

2. 進路決定状況

種 別	進 学				就 職		合 計
	大 学	短期大学	看護学校	専門学校	公務員	就職(含自営)	
男 子	11	1	0	9	1	14	36
女 子	3	3	1	10	0	9	26
合 計	14	4	1	19	1	23	62

3. 進学者内訳

進学先	地 域 性 別	道 内		道 外		合 計
		男子	女子	男子	女子	
国公立大学		0	0	0	0	0
私立大学		12	3	0	0	15
短期大学		1	3	0	0	4
看護学校		0	1	0	0	1
専門学校		9	10	0	0	19
合 計		22	17	0	0	39

4. 就職者職業分類内訳

職 種	男子	女子	合計
事 務	0	5	5
販 売	1	1	2
サ ー ビ ス	1	2	3
専門・技術	1	1	2
保 安	1	0	1
生産工程	3	0	3
建 設	5	0	5
運 搬	1	0	1
農林漁業	2	0	2
合 計	15	9	24

5. 就職者地域別内訳

地 域	男子	女子	合計
栗 山	6	2	8
由 仁	2	1	3
長 沼	0	3	3
南 幌	1	0	1
岩 見 沢	0	1	1
札 幌	3	0	3
他 道 内	3	2	5
道 外	0	0	0
合 計	15	9	24

